

福岡にゲーム振興機構

九大と市、制作会社が設立 技術者育成、産業集積へ

福岡市に拠点を置くゲームソフトの制作会社八社と同市、九州大でつくる「福岡ゲーム産業振興機構」が二十四日、発足した。インターネットの普及などでゲーム業界の成長が見込まれる中、産学官の連携で技術者を育成し、福岡都市圏での産業集積を目指す。

同市役所で開かれた設立総会には関係者約十五人が出席。委員長には人氣ソフト「ドラゴンクエストⅧ」を開発した「レベルファイブ」の日野晃博社長が選ばれ、「福岡はものづくりに向いた都市。大学や市とともにゲーム産業を盛り上げていきたい」とあいさつした。

同機構は優秀な人材の東京流出を食い止めるため、インターネットシニア（学生の企業内研修）や、有名ソフトの開発担当者などが講師を務める学生向けセミナーを開催。また、技術者の発掘を目的にソフトを一般公募して優秀作品を表彰することも計画している。同機構に参加するほかの七社は次の通り。

サイバーコネクトツィ
▽ガンバリオン▽システムソフト・アルファ
▽アルファ・エレメント▽アルファ・システム▽算法研究所
▽ペガサスジャパン